

・資料配布の場所・日時

1. 北海道庁道政記者クラブ
 2. 札幌市政記者クラブ
 3. 北海道建設記者会
 4. (株)建設行政新聞社
 5. (株)日刊建設工業新聞社 東北支社
 6. (株)建設新聞社 福島支局
 7. (株)福島建設工業新聞社
 8. (株)日刊建設通信新聞社 東北支社
- 日時：令和8年7月28日（14:00）



国立研究開発法人土木研究所
寒地土木研究所
令和8年7月28日

寒冷地の暮らしを支える土木の新技术を福島で紹介

令和8年8月25日に福島市において、寒地土木研究所が研究開発した優れた効果を上げる新しい技術を6件紹介します。

本説明会は北海道外の積雪寒冷地域にも役立つ新技术を公共工事等に携わる幅広い技術者を対象に説明し、現場への普及を図ることを目的に開催します。

1. 開催日：令和8年8月25日（火）13:15～16:30
2. 場所：コラッセふくしま（福島県福島市三河南町1番20号）4階多目的ホール
3. 開催内容：詳細は別紙をご覧ください
4. 参加費：無料
5. 申込期限：令和8年8月21日（金）まで
6. 申込方法：下記の寒地土木研究所ホームページの「寒地土木研究所 イベント情報」からお願いいたします。

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>



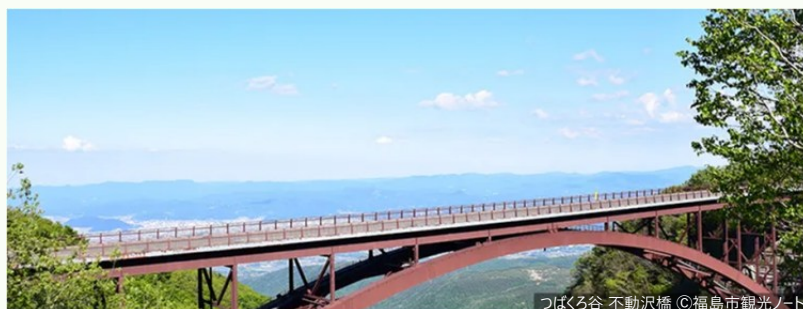
寒地土木研究所 HP

（イベント情報）

取材いただける場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
当日、直接会場にお越しいただいても結構です。

【問い合わせ先】	国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所 寒地技術推進室	室長	ながせ 長瀬 禎
		主任研究員	ふじかわ 藤川 亮
	電話番号	011-590-4046	

新技術説明会（福島）



2026年8月25日（火）

13:15～16:30（受付開始 12:15）

会場：コラッセふくしま 4階多目的ホール（福島市三河南町1番20号）



交通アクセス

JR福島駅西口より徒歩3分
※公共交通機関をご利用ください

参加無料
事前申込

お申込はWEBから

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>

寒地土木研究所 イベント情報

スマートフォン・タブレットはこちら▶



CPD・CPDS認定講習会

JCCA

CPDS

CPD単位: 3.00
202606190017
建設コンサルタンツ協会
CPD認定プログラム

1093170
3unit

13:15 主催者挨拶
土木研究所 技術推進本部 寒地技術普及推進監 伊東 靖彦

13:20 衝撃加速度試験装置を用いた盛土および石灰・セメント改良盛土の品質管理技術
寒地地盤チーム 主任研究員 安達 隆征

衝撃加速度の値から盛土の密度や強度を推定する装置により、盛土及び石灰・セメント改良盛土の品質を管理する技術です。
誰でも簡単に操作でき、従来の砂置換法と比べ、迅速かつ安価（コスト70%以上の縮減実績有り）に品質管理を行うことが可能です。

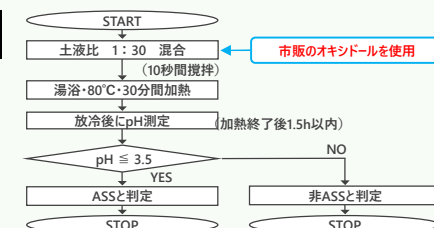
衝撃加速度試験装置



13:45 酸性硫酸塩土壌の簡易判定法
資源保全チーム 特任研究員 横濱 充宏

酸性硫酸塩土壌が分布している地域での工事現場において、短時間で酸性硫酸塩土壌が否かを簡易判定する技術です。工事現場にて簡易かつ速やかに判定することが可能であり、工事工程への影響を軽減することが期待できます。

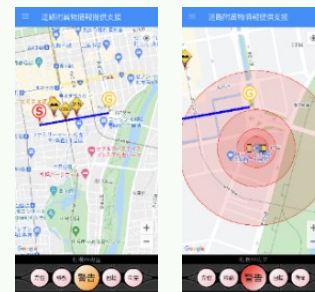
簡易判定法のフロー図



14:10 除雪機械オペレータ支援アプリ
寒地機械技術チーム 研究員 山田 充

積雪で埋もれて見えない道路付属物と除雪車の接触事故を防止するための情報提供アプリです。車載機器はスマートフォン（Android）のみで、あらかじめ位置情報を登録している道路付属物に除雪車が近接すると警報音と画面点滅等でオペレータに知らせることができます。

アプリ画面の一例



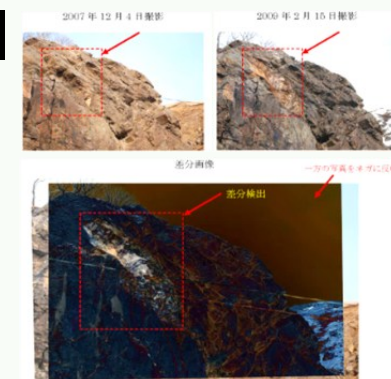
14:35 質疑応答（前半）

14:50 休憩（10分間）

15:00 写真計測技術を活用した斜面点検手法
防災地質チーム 上席研究員 日外 勝仁

異なる時期に撮影した写真を重ね合わせることで変化点を抽出する「背景差分法」と、航空写真測量技術を地上写真に応用した「変動量計測法」の2つの斜面点検手法に関する技術です。対象斜面に立ち入らずに点検が可能となることや従来の技術者の目視判定に比べ斜面点検技術の効率化が図れます。

背景差分法の事例



15:25 堤防決壊時に行う緊急対策工事の効率化に向けた検討資料
寒地河川チーム 主任研究員 島田 友典

堤防決壊時の緊急対策工事の効率化を考える際に必要となる河川特性に応じた決壊口の締切方法や重機作業、使用する資機材の適応性について検討したものです。堤防決壊時の緊急対策シミュレーション等でより有効な緊急対策の選択に寄与できます。

実物大規模の越水破堤実験



15:50 コンクリート構造物における表面含浸材の適用手法
耐寒材料チーム 主任研究員 遠藤 裕丈

表面含浸工法には、シラン系、けい酸塩系、アミン系等があります。これらをコンクリート表面に塗布・含浸させると、コンクリートの劣化因子である水の浸透抑制や、凍結融解と塩化物の複合作用によるスケーリングや塩害の進行遅延、また、これに伴うLCC（ライフサイクルコスト）の縮減が期待できる技術です。

表面含浸材の適用手法



16:15 質疑応答（後半）

16:30 閉会